

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名称：Enhanced K-Blue TMB Substrate  
製品番号：308175, 308176, 308177（メーカー略号: NEO）  
構成品名：Enhanced K-Blue® TMB Substrate  
会社名：コスモ・バイオ株式会社  
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号  
担当部署：製品情報部  
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619  
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp  
推奨用途：試験研究用試薬

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（骨髄、肝臓、神経系、肺）

#### GHSラベル要素



注意喚起語：危険

#### 危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（骨髄、肝臓、神経系、肺）

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

##### 応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：N-メチル-2-ピロリドン(1-メチル-2-ピロリドン)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
1-メチル-2-ピロリドン	10	872-50-4	5-113
過酸化尿素	≤0.5	124-43-6	-

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 1-メチル-2-ピロリドン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分 1-メチル-2-ピロリドン

### 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

刺激や症状が続く場合は、医師の診察を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

流出した場所を多量の水で十分に洗浄する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管

#### 安全な保管条件

4℃で保存すること。容器を密閉して保管すること。

#### 安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(1-メチル-2-ピロリドン)

日本産衛学会(2002) 1ppm; 4mg/m<sup>3</sup> (皮)

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

耐薬品性の保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：透明

臭い：無臭/微臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし  
自然発火点：データなし  
分解温度：データなし  
pH：データなし  
動粘性率：データなし  
水に対する溶解度：溶ける  
n-オクタノール/水分配係数：データなし  
蒸気圧：データなし  
密度及び/又は相対密度：データなし  
相対ガス密度(空気=1)：データなし  
粒子特性：該当なし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

データなし

### 化学的安定性

通常の実験条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

### 避けるべき条件

直射日光、熱、極端な温度

### 混触危険物質

データなし

### 危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 急性毒性(経口)

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(1-メチル-2-ピロリドン)

rat LD50=3500mg/kg (DFGOT vol.10, 1998)

(過酸化尿素)

female rat LD50 >2000mg/kg (REACH登録情報, Access on Dec. 2019)

### 局所効果

#### 皮膚腐食性/刺激性

##### [製品]

区分 2, 皮膚刺激

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(1-メチル-2-ピロリドン)

ヒト 軽度から中等度の一過性刺激 (SIDS, 2009)

(過酸化尿素)

in vitro test; 細胞生存率: 72.8% (3min./exposure time), 19.3% (60min./exposure time) (OE

CD TG431)(REACH登録情報, Access on Dec. 2019)

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

##### [製品]

区分 2, 強い眼刺激

##### [成分データ]

[日本公表根拠データ]

(1-メチル-2-ピロリドン)

ラビット 中等度から強度の刺激性 (DFGOT vol.10, 1998)  
(過酸化尿素)  
平均刺激性スコア(IVIS): 99.44 (BCOP, OECD TG437) (REACH登録情報, Access on Dec. 2019)  
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし  
生殖細胞変異原性：データなし  
発がん性：データなし  
生殖毒性  
[製品]  
区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
[成分データ]  
[日本公表根拠データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
cat. 1B; SIDS, 2009  
催奇形性：データなし  
特定標的臓器毒性  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
[成分データ]  
[区分3(麻酔作用)]  
[日本公表根拠データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
麻酔作用 (CICAD 35, 2001)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
[製品]  
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
[成分データ]  
[区分2]  
[日本公表根拠データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
骨髄、肝臓、神経系、肺 (CICAD 35, 2001)  
誤えん有害性：データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
水生環境有害性  
[成分データ]  
水生環境有害性 短期(急性)  
[日本公表根拠データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
藻類 (セネデスムス) EC50 >500mg/L/72hr (SIDS, 2009)  
水溶解度  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
100 g/100 ml (SRC, 2005)  
残留性・分解性  
[成分データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
急速分解性あり (BOD(NO2)分解度=73%/28 days; BOD(NH3)分解度=94%/28 days; TOC分解度=96%/28 days; GC分解度=100%/28 days (通産省公報, 1989))  
生体蓄積性  
[成分データ]  
(1-メチル-2-ピロリドン)  
log Pow=-0.38 (ICSC, 2014)  
土壌中の移動性：データなし  
オゾン層への有害性：データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器を再利用してはならない。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

---

### 14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を  
確実にを行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Y類) 1-メチル-2-ピロリドン

国内規制がある場合の規制情報：非該当

---

### 15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

1-メチル-2-ピロリドン(別表第9の588の2(令和6年3月31日まで)、別表第9の588の3(令和6年4月1日施行))

名称等を通知すべき危険/有害物

1-メチル-2-ピロリドン(別表第9の588の2(令和6年3月31日まで)、別表第9の588の3(令和6年4月1日施行))

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質 N-メチル-2-ピロリドン(10%)[1-メチル-2-ピロリドン(10%)]

消防法：非該当

化審法

優先評価化学物質 1-メチル-2-ピロリドン(政令番号136 人健康影響)

---

### 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ  
て改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取  
扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は  
当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品  
の性能について何ら保証するものではありません。